

松本基志 県政報告

群馬県議会議員

令和5年 夏号
松本基志事務所
〒370-0861 高崎市八千代町1-17-8
TEL 027(325)1727
FAX 027(321)7523

「市民、県民の暮らしを守る」

2期目の
誓い新た

デジタル都市高崎も視野に

4年に1度の群馬県議会議員選挙は4月9日、統一地方選挙の前半戦として行われ、松本基志県議は高崎市選挙区で再選を果たしました。2期目のスタートに「市民、県民の命と健康、そして暮らしを守る」原点をかみしめています。高崎のGメッセ群馬では4月29、30の両日、先進7カ国(G7)デジタル・技術相会合が開かれ、対話型人工知能(AI)の適切な利用などが話し合われました。高崎の新たな都市像に「デジタル」が加わる契機ととらえ、時代の最先端を走るまちづくりを見つめています。

2期目の県議会で、総務 議事進行に関わる議会運営
企画常任委員会、危機管理・ 委員会の副委員長、代表者 害時に市民、県民を守る態
エネルギーに関する特別委 会議のメンバーにも就きま 勢づくり、首都機能のバツ
員会、議会基本条例推進委 した。 クアップ対策などの危機管
員会の委員となり、議会の 1期目4年間の県議会議 理に熱意を示しました。地

域防災アドバイザー制度の
改良やアドバイザーのレベ
ルアップにも、防災士とし
て自らの経験を生かし、提
言を行ってききました。

2期目のスタートで危機
管理を担当する特別委員会
を選択したのは、これまで
の活動の「延長線」です。
県民の命に関わる安全確保

の態勢を整え、群馬県の優
位性を生かした首都圏を支
える取り組み、災害レジリ
エンス・ナンバー1の実現
などを、議会人のライフ
ワークとして進めます。



自民党会派に所属する2期目の県議は13人。定数50の4分の1を超え、初登庁の日に県議会庁舎のエントランスで行った記念撮影も壮観でした。

健全財政
強く求める

県議会議員選挙後の5月の県議会第2回定例会・総務企画常任委員会、県財政について議論しました。

以前から一般質問で財政調整基金の積み立てなどを求めてきており、県からはこの四年間で、基金残高は「最低レベル」から「全国中位」に改善したとの説明を受けました。

行政の健全な財政運営を求める姿勢は高崎市議時代から一貫しており、首長と議会の「二元代表制」の最大のメリットでもある議会のチェック機能を常に意識して活動しています。

県政に
「県民の声」を!

県議会の定数は「50」ですが、今年4月の県議会議員選挙を終え、自民党会派の所属議員は33議席を占めました。初登庁の5月10日には、県議会の職員から「議員バッジ」を着装され、新県議からは笑顔が弾ける一幕もありました。

松本県議は「多くの皆さまのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます」とコメントし、身近な県議として市民、県民の声を「しっかりと県政にお届けしたい」と2期目の活動に向けて決意を新たにしていきました。



群馬県議会
議員

松本もとし

県議会議員選挙後、初登庁した5月10日。県議会の職員から「議員バッジ」を。会場には明るい雰囲気は漂うも、2期目への重責をひしひしと受ける松本県議



井下態勢で筆頭副幹事に!

自由民主党群馬県連は5月8日、井下泰伸・新幹事長を選出、11日には井下幹事長の下で新たな県連執行部を立ち上げました。松本基志県議は筆頭副幹事長として5役入り(写真左端)。期別で最多13人の2期の「代表」として、また、県連執行部の一員として、自民党県連の屋台骨を支える立場になりました。

安全、安心の確保は災害対策だけではありません。医療や介護、福祉の充実、子育てや高齢者、障害者に優しいまちづくりも心がけます。

県が取り組みを始めた渋川市の小児医療センター再整備は、県議会一般質問で取り上げています。同センターは老朽化、狭隘化などが課題として指摘されており、県も建替再整備を目指していましたが、本年度は再整備の詳細を具体化するマスタープラン策定の予算一千万円を付けました。

加えて、コロナ禍で疲弊した事業者の支援や景気対策。ロシアのウクライナ侵襲から目立ってきた物価高騰への対応にも努めます。

群馬県議会
議員

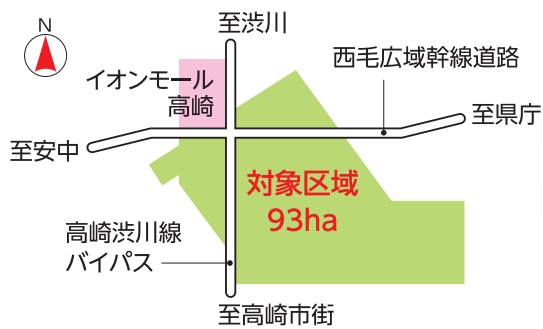
松本もとし 活動報告

旧堤ヶ岡飛行場にIT産業集積

高崎にG7デジタル・技術相集う

「堤ヶ岡飛行場」跡地は西毛広域幹線道路と県道高崎渋川線バイパスの交差点周辺に広がる93畝。旧陸軍が太平洋戦争末期に建設しました。交差点の西北角地はイオンモール高崎（高崎市棟高町）など商業施設が集積しています。

県と市は人口知能（AI）や情報通信技術（ICT）の関連企業、大学、研究機関などの誘致を進め、先端産業の集積地を作る構想です。今後は、共同で基本計画を策定し、都市計画決定、環境影響評価を令和9年までに進め、令和10年には造成を始める計画



目指すは米シリコンバレー
93畝の未来が始動

県庁で共同記者会見に臨んだ山本一太知事は「シリコンバレーを超えるようなまちにしていきたい」と展望し、富岡賢治市長は「高崎と群馬経済の飛躍的発展につなげたい」と強調しました。

ふるさとの発展を願う松本基志県議は「高崎のあらたな可能性を大きく切り開くプロジェクト。基本構想の策定に向け、県には知事戦略部を中心に全庁的な取り組みをお願いしたい」と、総務企画常任委員会でも要望し全力で支援する姿勢を示しています。

群馬県と高崎市は、旧陸軍「堤ヶ岡飛行場」跡地でデジタルを活用したまちづくりを進めることになりました。高崎市は「パスタのまち」「ソ

「責任あるAI」推進
広島サミットでも検討

フトボールのまち」など食やスポーツで都市イメージを打ち出していますが、「先端産業の集積地」が新たなシンボルに加わります。4月末には、先進7カ国（G7）デジタル・技術相会合が開かれ、高崎発の「責任あるAI（人工知能）」

推進を世界に向け発信。デジタル都市への「はずみ」を印象付けました。

デジタル・技術相会合は、急速に進化するAIが社会への影響力を増す中、国際的な技術基準の策定を目指す共同声明を採択しました。これを受けて、先進7カ国首脳会議（G7広島サミット）は5月21日、人間のように自然な文章や画像をつくりだす生成AIに関するG7の見解を年内に集約する方針を首脳声明に盛り込みました。

対話型人工知能「チャットGPT」に代表される生成AIは、インターネット上の膨大な文章や画像などのデータを学習し、人間が作ったものと見分けがつかない文章や画像を作ります。半面、個人情報流出や偽情報拡散、著作権保護の在り方などが喫緊の



デジタル・技術相会合に合わせた防災危機管理の展示（上）と空飛ぶ車を見学（下）



また、Gメッセ群馬でデジタル・技術相会合と同時開催のデジタル技術展を見学。ドローンの撮影した高崎空中散歩のほか、AIを活用した防災危機管理、空飛ぶ車、土木現場のデジタル化など最先端の技術に触れてきました。

最先端技術を見聞。
「正しく使う」を再認識

松本県議は「生成AIのリスクを心配する方も大勢いらっしゃると思いますが、新しい優れた技術は活用せざるをえません。しっかりと理解して、うまく使うのが正しい道でしょう」と話し、デジタル・技術相会合の前日に伊香保で開かれた歓迎レセプションに意欲的に参加しました。

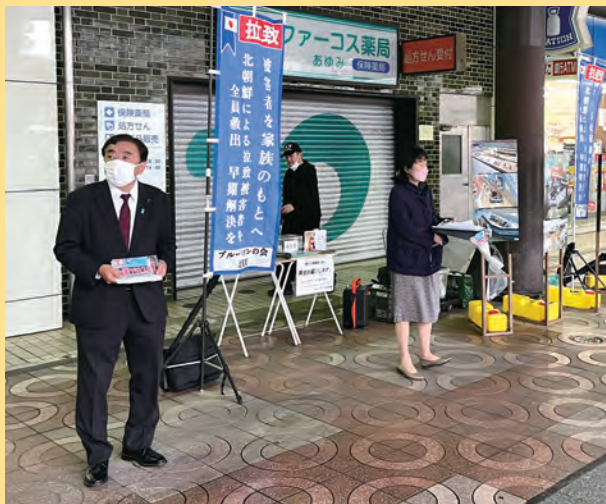
医療的ケア児や家族支援
県内3カ所に
センター開設

県は6月30日、渋川市の小児医療センターに医療的ケア児等支援センター「やつほ」の基幹センターを設け、高崎市とみどり市の2カ所に地域センターを開設しました。

松本県議は昨年11月の一般質問で同センターの設置を提案しています。山本一太知事は「ケア児と家族が安心して暮らしていくため、ぜひ設置したい」と前向きな姿勢を示していました。

拉致被害者を家族のもとへ

北朝鮮による拉致問題の解決を目指す街頭活動は5月7日、高崎駅前前で開かれました。恒例のイベントとなりましたが、駅周辺を歩く市民に「全員の実帰国」への協力を呼びかけました。この活動はこれからも続けます。



知事を表敬 群馬の発展誓う！

自民党県連の新執行部は5月11日、山本一太知事を表敬訪問しました。県議会の最大会派を率いる自民党と知事との「良い、関係は、群馬県の発展に直結します。地方政治の二元代表制のメリットを最大限に生かし、「お互いの立場で県政の発展に努めていきたい」と、筆頭副幹事長として執行部入りした重責をかみしめました。



たかさきスプリングフェスティバルは4月29日、市役所前広場などで開かれました。苗木の配布は長蛇の列。多くの皆さんが、食、遊び、芸能などのイベントを楽しみました。高崎だるまのキャラクター「たか丸くん」と記念の1枚！